

平成 25 年度事業報告書

第 24 期（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）

1 事業の概要

（1）総括事項

海外旅行が自由化された 1964 年 4 月から 50 周年を迎えた今年，ある調査においては，「子供にグローバル人材になってほしい」と積極的に願う親は 2 割程度という結果が出ている。様々な事情があるものの，社会的な土台はあっても一歩を踏み出そうとする子供の背中を押すことができない家庭が多いという状況が浮き彫りになっている。このような社会状況の中，当協会としても，単純に語学力を身に着けるためではなく，「グローバル人材」^{（注）}を育成するための身近なきっかけづくりを引続き進めていく必要がある。

そこで，当協会では，平成 25 年度は，主に以下の事業を実施した。

まず第一に，通年事業としては，市内の各国際交流団体で実施される，お互いの歴史や文化を自ら体験し学ぶことを目的とした相互訪問・ホームステイ等事業，国際交流イベント事業の支援を実施した。

第二に，11 月に英語への関心と英語力の向上を目的として，当協会主催の「スピーチ交流会」を開催した。「平和のために今自分にできること」「私が憧れる有名人」「海外に紹介したい日本の文化」をテーマに，市内の中高生 17 名が，英語で発表を行った。

さらには，市内及びその近郊の外国人居住者が抱える，言葉や生活習慣の違いから生じる課題に適切に対応するため，ボランティアの方に依頼して，通年で生活相談会及び日本語教室を三次市と連携して開催し，外国人が暮らしやすい環境づくりの推進を図った。

（注）グローバル人材：日本人としてのアイデンティティを持ちながら，広い視野に立つて培われる教養と専門性，異なる言語，文化，価値を乗り越えてのコミュニケーション能力と協調性，創造性や社会貢献意識を備えた人材。

グローバル人材育成の最終目標は，海外で活躍する人を増やすことではなく，グローバル対応能力の高い人を育成することにある。語学の勉強，海外経験，国際交流活動を通じて，広い世界を知ると同時にふるさとの良さを再認識することで郷土への誇りと愛着を深め，高い意欲と志を持ちながら自分ならではの専門性・強みを伸ばして，郷土の発展にも貢献する人材を育成することにある。

(2) 会議に関する事項

報告・協議・議決事項

会議名	開催年月日	件名
評議員会	第1回 平成25年5月22日	① 評議員会議長及び評議員会副議長の選任について ② 平成24年度事業報告について ③ 平成24年度収支決算報告について ④ 国際交流事業助成金交付要綱の一部改正(案)について
	第1回臨時会 平成25年8月20日	① 一般財団法人移行後の定款について ② 一般財団法人移行後の理事及び監事の選任について ③ 一般財団法人移行認可申請手続きについて
	第2回 平成26年3月13日	① 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ② 平成26年度資産の管理方法(案)について
理事会	第1回 平成25年5月24日	① 平成24年度事業報告について ② 平成24年度収支決算報告について ③ 国際交流事業助成金交付要綱の一部改正(案)について
	第1回臨時会 平成25年8月23日	① 一般財団法人移行後の定款について ② 一般財団法人移行後の理事長、副理事長及び専務理事選任について ③ 一般財団法人移行後の評議員選任について ④ 一般財団法人移行認可申請手続きについて
	第2回 平成26年3月28日	① 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ② 平成26年度資産の管理方法(案)について

(3) 事業に関する事項

ア 国際交流に関する事業

(円)

事業名	事業結果	平成 25 年度 決算額	実施事業 (継続事業)
国際交流事業助成金	市内の国際交流推進団体が主催する、「訪問団派遣・受入交流事業」「国際交流イベント事業」に対し、助成金を交付してその活動を支援した。	6,395,105	○
スピーチ交流会 -Speech Exchange Meeting-	世界共通語である英語への興味・関心の喚起と英語力の向上を目指すため、三次市内に在住または通学する中学生 14 人, 高校生 3 人の参加による英語スピーチ交流会を 11 月 23 日に開催した。	131,194	○
姉妹・友好都市等 公式訪問団受入	平成 25 年度は、三次市を公式又は公式に準じた形式で訪れる姉妹・友好都市等訪問団は無かった。	0	○
国際交流・協力ボ ランティア募集	通訳・翻訳ボランティア, ホームステイ・ホームビジット等のボランティアの募集を随時ホームページ上で行った。平成 25 年度の応募は無かった。	0	

イ 在住外国人の支援に関する事業

(円)

事業名	事業内容	平成 25 年度 決算額	実施事業 (継続事業)
在住外国人のための 生活相談	在住外国人が三次市での生活に溶け込めるように、三次市と連携して、生活相談等の相談業務及び情報提供を行った。	121,470	○
在住外国人のための 日本語教室	在住外国人が三次市での生活に溶け込めるように、三次市と連携して、日本語教室を開催した。	0	○

平成 25 年度各団体実績報告

国際交流団体等名	事業内容	補助決算額
特定非営利活動法人 こうぬじみ・カーター・シビックセンター国際交流協会	<p>第 22 次アメリカス市訪問団派遣事業 実施時期：8 月 20 日～27 日 訪 問 団：市内中学 3 年生 36 名と団長・引率者等 7 名 内 容：表敬訪問，ホームステイ，学校間交流等</p> <p>アメリカス市訪問団受入事業 実施時期：4 月 14 日～18 日 訪問団：子ども 4 名・大人 8 名 内 容：表敬訪問，ホームステイ，学校間交流等</p>	<p>(派遣) 4,215,000 円</p> <p>(受入) 285,000 円</p>
三次市日中友好協会	<p>雅安市雨城区第 8 次子ども友好訪中団派遣事業 派遣中止</p>	0 円
三次インド交流協会	<p>平成 25 年度インドハイデラバード市経済交流訪問団派遣事業 実施時期：11 月 2 日～11 月 8 日 訪 問 団：9 人（三次市，三次市議会，三次市内事業者，県立広島大学） 内 容：ハイデラバード市，アンデラ・プラデシュ州園芸局及び商工会議所，アチャリヤ農業大学などを訪問し，農業に関する大学間交流，農業分野の協働事業発掘などを図った。</p>	812,374 円
日加教育国際交流協会	<p>平成 25 年度日本・カナダ教育国際交流事業（訪問団派遣） 実施時期：10 月 28 日～11 月 6 日 訪 問 団：市内中学生 14 名と団長・引率者 4 名 内 容：表敬訪問，ホームステイ，学校間交流等</p> <p>平成 25 年度日本・カナダ教育国際交流事業（訪問団受入） 実施時期：3 月 13 日～22 日 訪問団：子ども 12 名・大人 3 名 内 容：表敬訪問，ホームステイ，学校間交流等</p>	<p>(派遣) 652,691 円</p> <p>(受入) 260,000 円</p>
広島県三次日韓親善協会	<p>文化交流事業 内 容：市内で開催されるイベントに韓国物産で出店参加</p>	35,000 円
第 38 回三次きんさい祭実行委員会	<p>第 38 回三次きんさい祭国際村運営事業 実施時期：7 月 27 日 市内及び近隣市町の在住外国人と国際交流団体の参加により，自国の PR や物販など各種イベントを開催した。</p>	100,000 円
E G G（草の根国際交流会）	<p>第 21 回年末特別国際交流会（YEAR-END-PARTY） 実施日：12 月 15 日 内 容：県北在住の外国人を対象として毎月実施する学習及び交流の会を拡大したイベントを開催。</p>	30,000 円

(様式1-1)

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,010,270	2,734,821	275,449
流動資産合計	3,010,270	2,734,821	275,449
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	83,000,000	83,000,000	0
定期預金	24,800	24,800	0
現金預金	0	0	0
基本財産合計	83,024,800	83,024,800	0
(2) 特定資産			
.....	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	83,024,800	83,024,800	0
資産合計	86,035,070	85,759,621	275,449
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	83,024,800	83,024,800	0
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	86,035,070	85,759,621	275,449
負債及び正味財産合計	86,035,070	85,759,621	275,449

(様式2-1)

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取配当金	1,260,497	396,000	864,497
基本財産受取利息	7	7	0
② 受取会費			
賛助会員受取会費	223,000	192,000	31,000
③ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	5,665,065	4,967,000	698,065
受取民間補助金	20,000	20,000	0
④ 受取負担金			
受取負担金	0	3,349,475	△ 3,349,475
⑤ 受取寄付金			
受取寄付金	30,000	130,000	△ 100,000
⑥ 雑収益			
受取利息	607	540	67
雑収益	0	0	0
経常収益計	7,199,176	9,055,022	△ 1,855,846
(2) 経常費用			
① 事業費			
旅費交通費	0	640,320	△ 640,320
通信運搬費	0	85,140	△ 85,140
消耗品費	10,204	142,600	△ 132,396
印刷製本費	0	0	0
賃借料	10,650	101,660	△ 91,010
諸謝金	120,000	463,000	△ 343,000
支払負担金	0	20,000	△ 20,000
支払助成金	6,390,065	5,497,000	893,065
委託費	21,000	135,000	△ 114,000
雑費	0	27,920	△ 27,920
交際費	88,500	2,039,788	△ 1,951,288
支払手数料	7,350	2,625	4,725
② 管理費			
会議費	7,480	9,900	△ 2,420
旅費交通費	5,800	0	5,800
通信運搬費	91,060	24,800	66,260
減価償却費	0	0	0
消耗品費	30,912	7,270	23,642
印刷製本費	0	0	0

租税公課	21,000	21,000	0
支払負担金	35,000	0	35,000
委託費	0	0	0
雑費	0	0	0
支払手数料	84,706	5,895	78,811
経常費用計	6,923,727	9,223,918	△ 2,300,191
当期経常増減額	275,449	△ 168,896	444,345
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
・・・・・・・・・・	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	275,449	△ 168,896	444,345
一般正味財産期首残高	85,759,621	85,928,517	△ 168,896
一般正味財産期末残高	86,035,070	85,759,621	275,449
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	86,035,070	85,759,621	275,449